

電源地域 振興トピックス

町の活性化と“再生”に向けた各地の取り組み

このコーナーでは電源地域各地の地域振興に向けた話題を取り上げています。今回は福島県川内村の「植物工場」、同県楳葉町のギャラリー開設、福井県若狭町や群馬県みなかみ町の町の活性化に向けた取り組みに関する話題をお届けします。



若 女将インターンで 民宿を活性化

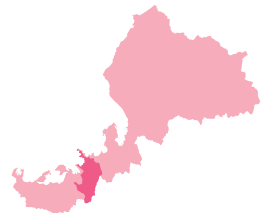
福井県若狭町

福井県若狭町には約100軒の民宿があり、新鮮な旬の魚、宿の主人と女将の家族的なおもてなしが、最大の魅力となっている。これを目当てに京阪神、中京方面から多くのリピーターが訪れているが、年々宿泊客が減少しているとともに、後継者

不足から民宿の数自体も減少している現実もある。

町はこの状態を少しでも改善するきっかけづくりのため、平成23年度から「若女将イン

ターン事業」に取り組み始めている。主に都市部在住の女子大学生が若狭町の漁師民宿にインターンシップに入り、仕事の体験やSNSによる魅力発信を行うもの。3年間で29名の女子大学生が参加した。それぞれが1人ずつ1軒の宿に入り、接客・掃除・配膳などの民宿の仕事のインターンを行うとともに、SNSで若狭町の魅力を発信し、最終日には今後の集客案などの観光PRの提案を行



不足から民宿の数自体も減少している現実もある。町はこの状態を少しでも改善するきっかけづくりのため、平成23年度から「若女将インターン事業」に取り組み始めている。主に都市部在住の女子大学生が若狭町の漁師民宿にインターンシップに入り、仕事の体験やSNSによる魅力発信を行うもの。3年間で29名の女子大学生が参加した。それぞれが1人ずつ1軒の宿に入り、接客・掃除・配膳などの民宿の仕事のインターンを行うとともに、SNSで若狭町の魅力を発信し、最終日には今後の集客案などの観光PRの提案を行

っている。インターン終了後も、町が認定する「若狭町観光サポーター」として、首都圏や大阪でイベントなどのPR活動を行う。手当の支給はないが、宿泊・食事の提供がある。それまで、あまり接点のなかった首都圏の学生と若狭町だが、若女将インターン事業がきっかけで、新たな交流が生まれた。町は、女子学生の視点で若狭町の情報を発信してもらい、同世代の集客を期待している。

村の再生と復興に向けて展開する「植物工場」

福島県川内村

福島県川内村では、平成25年4月より、完全密閉型の専用工場野菜を育てる事業を展開している。栽培方法は水耕栽培の進化形で、人工の光と炭酸ガスにより光合成を促し、培養液から栄養を与える、いわゆる「植物工場」。この工場の特徴は、熱放射が少ないLED照明を使用していることや、完全密閉型のクリーンルームであること、インターネット型遠隔監視制御システムの採用などだ。

鮮野菜卸会社の共同事業として開始された。当初は試験的に約50種類の野菜を栽培していたが、現在はレタス類とハーブ類を中心

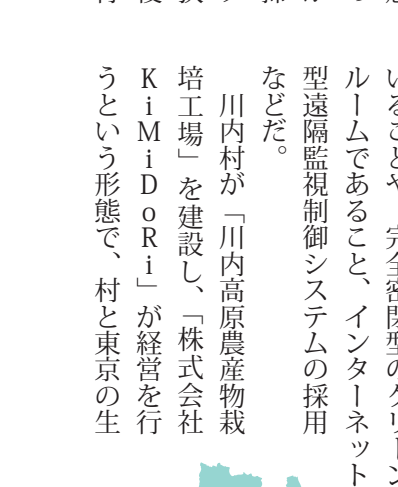
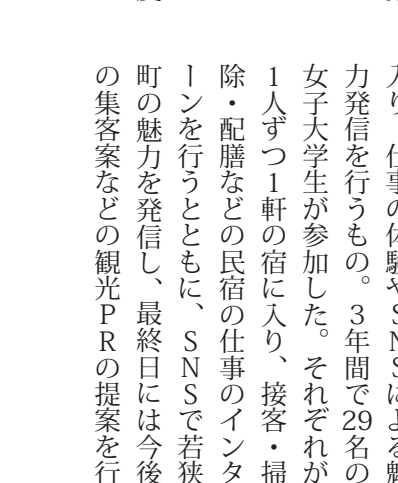
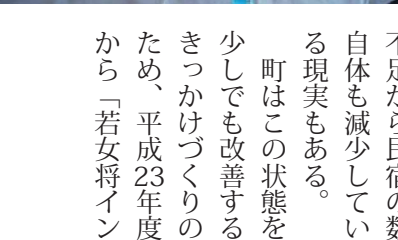
完全密閉型の工場内部



「若狭町観光サポーター」としてのPR活動



インターンの女子大学生たち





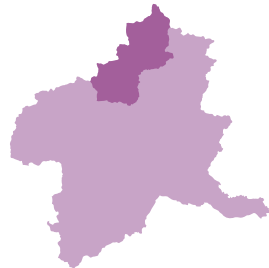
アウトドアスポーツタウンを 目指す取組み

みなかみ町は2,000m級の山々の谷川連峰に囲まれ、町の中央を日本有数の大河川である利根川の清流が流れる自然豊かな町である。そのみなかみ町でアウトドアスポ

に、約30種類を栽培している。収穫した野菜は手作業で包装、工場内にある放射線量測定装置で全量検査をして出荷される。原発事故による風評被害は、川内村の地場野菜に大きな打撃をもたらしたが、川内村の再生と震災からの

復興が、この植物工場の立地に至った最も大きな要因。県内の大手スーパーに出荷しているが、今後は生産量と販路のさらなる拡大を目指し、「6次産業化」を視野に入れた新商品の開発などにも取り組むという。

群馬県みなかみ町



ーツの先駆けとなったのは約20年前に利根川をゴムボートで下るラフティングだった。

その後、カヌーやゴムボートの全日本クラスの大会が数多く開催されたこともあり、アウトドアスポーツが急速に普及した。

現在では一年を通じて、様々なアウトドアスポーツが町内の山・川・湖を舞台として数多くの方々に楽しまれている。

そんな中、来町者に安心してアウトドアスポーツを楽しんでもらえるよう、安全確保のためのルール作りを行い、安全レベルの向上を目指す

うという機運が町内で盛り上がり、まず、事業者により「一般社団法人アウトドア連合会」が組織され、その後、「みなかみ町アウトドアスポーツ振興条例」が平成25(2013)

文化の発信を今、榊葉から GALLERY G.TOO開設

福島県榊葉町

東京電力(株)福島第一原子力発電所事故の影響により、現在、町の大半が避難指示解除準備区域に指定されている福島県榊葉町。その榊葉町に昨年11月に開設されたのが「GALLERY G.TOO」である。

「した」と話す。ギャラリー開設後は定期的に個展が開催されている他、お茶など飲みながら語らうスペースも設けられ、榊葉町民の方々の交流スペースとしても活用されている。

年4月に施行された。今後、同町ではこの条例の活用により、さらに質の高いアウトドアスポーツを提供できる「アウトドアスポーツタウン」を目指している。

このギャラリーを開設したデザインスタジオ オガリ代表の猪狩泰人さんは、「今後、榊葉町民の皆さんの帰町が本格化していくのが予想されるが、建設やライフラインなどハード面だけでなく、絵画をはじめとした文化面で交流の場を提供することにより、『心の復興』に役立ちたいという思いで開設しま



楽しく交流する榊葉町民の皆さん